

# 平成25年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B57	侵略的外来生物対策事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		戦略項目			
					分野施策	040104 生物多様性保全の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>特定外来生物による人に対する危害、農作物に対する被害、さらには生態系に対する被害を早急に防止し、県民の安全・安心な生活と生物多様性の確保を図る。</p> <p>(1) 普及啓発事業 74千円                      (2) 自然環境影響調査事業 1,000千円                      (3) 緊急対策事業 200千円                      (4) 計画防除実施事業 7,518千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 普及啓発事業(パンフレット作成：5月)                      県民に外来生物の知識や対応について、普及啓発を行う。 74千円</p> <p>イ 自然環境影響調査事業(調査委託：5月)                      アライグマの捕獲個体データ等に基づき、生息状況等の調査を実施する。 1,000千円</p> <p>ウ 緊急対策事業(通年)                      県民の要請に基づき、警察や県が緊急引き取りした個体を適正に移送し、処置する。 200千円</p> <p>エ 計画防除実施事業(通年)                      計画に基づく捕獲個体の分析や捕獲従事者の育成、アライグマ回虫等の検査等を実施する。 7,518千円</p> <p>(2) 事業計画                      「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づき、関係機関と協力して計画的な防除を進めていく。                      第3次計画期間：平成23年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 農林水産業、人及び生態系への被害を防止することができる。                      イ 侵略的外来生物はその繁殖力の強さが特徴であるため、早期段階の強力な対策の実施が最大の効果を生む。                      捕獲数 平成21年度：2,388頭→平成23年度：2,071頭</p>					
2 事業主体及び負担区分 県(10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	8,792						8,792	0
前年額	8,792						8,792	